令和６年７月 26 日

小規模多機能ホーム　きいちご倶楽部

令和６年度第２回　地域運営推進会議　報告書

日時：令和６年７月 26 日

出席者：

高齢者あんしん支援センター	１名	出雲市高齢者福祉課	１名
民生委員・福祉委員	１名	地域委員	１名
社会福祉法人星隆会理事長	１名	施設職員	１名

当施設において新型コロナが発生したため、オンラインにて開催する。

配布資料

①会議資料（本資料）

②小規模多機能型居宅介護サービス提供状況報告書

＜ご利用者の状況＞

１．登録状況

7 月 23 日現在、15 人の方に利用登録いただいています（登録定員：25 人）

要介護度と男女別の人数は次のとおりです。

	男性	女性	計
要介護１	4	4	8
要介護２	1	3	4
要介護３	0	1	1
要介護４	0	2	2
要介護５	0	0	0
計	5	10	15

年齢と男女別の人数は次のとおりです。

年齢	男性	女性	計
60 歳代	0	1	1
70 歳代	0	2	2
80 歳代	4	2	6
90 歳代	1	5	6
計	5	10	15

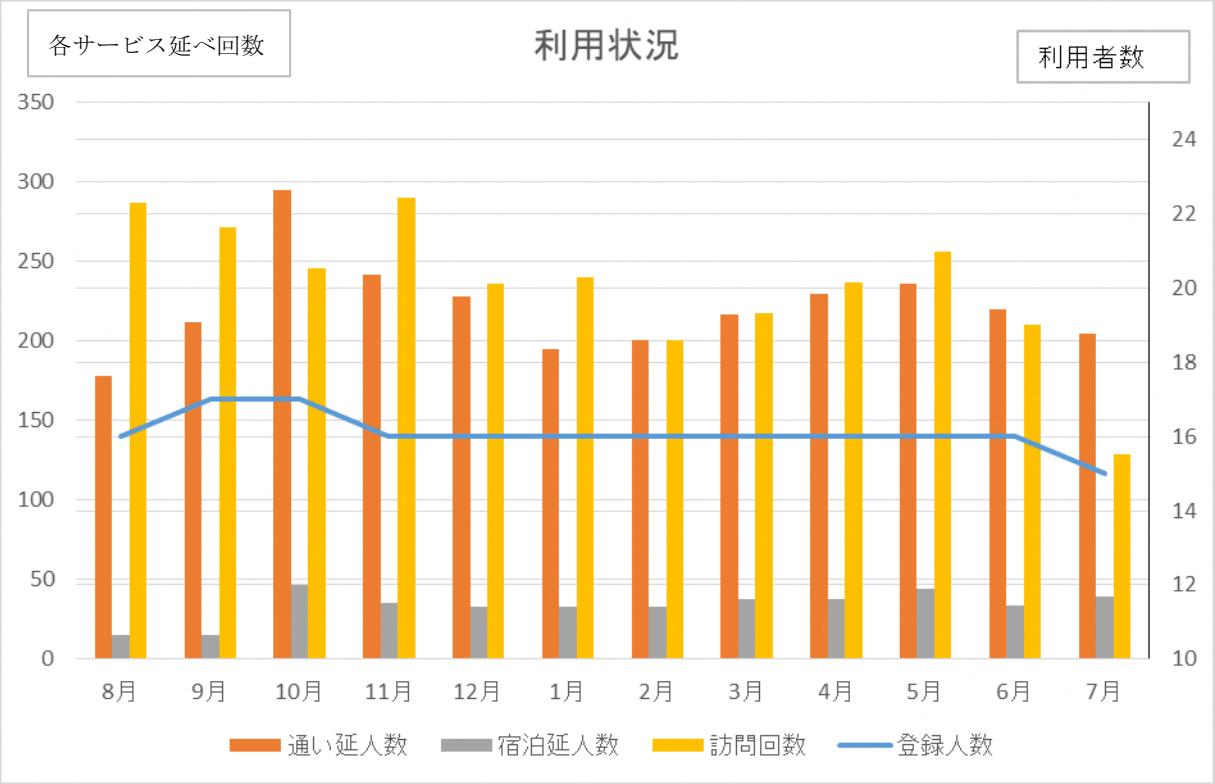
平均要介護度：1.88

平均年齢：85.56 歳

２．サービス提供状況の推移（登録人数、通い、泊まり、訪問）

直近２カ月の実績数（延べ数）

月	通い	訪問	泊り
6 月	220	210	34
7 月	205	129	39



別紙「小規模多機能型居宅介護　サービス提供状況報告書」も参照してください

対前月比

６月末に１名の方が海星病院に入院となったため、訪問回数が急減した。

また、施設内での新型コロナの感染により、通い回数も若干減少した。

３．６月～７月　行事・レクリエーション

６月６日（木）～ ７日（金）笹巻作り

参加者：６日９名／７日 10 名

笹巻き作りを行いました。

男性の方にこねてもらい、その後に皆さんで巻いていただきました。

慣れた手つきで巻いてくださり、昼食時に召し上がって頂きました。

作りたてを提供し、「おいしい」と喜んで下さりおかわりをされる方もおられました。

6 月 23 日（火）職員会議　…　利用者様の生活状況の確認と支援方法について

6 月 25 日（火）クレープ作り

参加者：7 名

ご利用者の誕生日にクレープ作りを行いました。

数種類のフルーツをご利用者に切ってもらい、焼いたクレープ生地にそれぞれ好きなフルーツを盛りつけた後、デコレーションをしていただきました。

作ったクレープを召し上がられ、とても喜ばれていました。

7 月 1 日（月）～ 7 月 2 日（火）夏祭り

参加者：1 日 8 名／2 日 7 名

毎年恒例の夏祭りを行いました。

午前のお茶の際にかき氷をお出しし、シロップを選んでもらい好きな味で楽しまれました。

その後、缶転がしやスーパーボール掬いなどのゲームを行い、楽しんで体を動かされました。

昼食には焼きそばとたこ焼きを提供し、召し上がっていただきました。いつもとは違う雰囲気のメニューに喜ばれていました。

7 月 23 日（火）職員会議　…　利用者様の生活状況の確認と支援方法について

４．研修受講

内部研修

6 月　6 月 25 日実施　接遇

7 月　7 月 23 日実施　事故発生対応およびリスクマネジメント

外部研修

6 月 26 日～10 月 3 日　介護職員実践者研修　職員：1 名

５．新型コロナ発生状況

6/27　夜勤明けの職員が体調不良あり、翌日受診し、新型コロナ陽性反応あり
家族に連絡し、体調確認を行う。その後は感染の拡大はなし。

7/11 夜　泊りサービス利用者に発熱あり。抗原検査を行うも陰性だったためクーリングを行い、様子を見る。

7/12 朝　泊りサービス利用者に発熱があり、2 名緊急搬送とする。
家族への連絡および全利用者・職員を対象に抗原検査を実施する。
利用者 1 名、職員 1 名より陽性反応あり、受診をお願いする。

7/13　職員 1 名より陽性反応あり

7/16　利用者 1 名、自宅にて発熱があり、受診され陽性とのこと

7/17　迎え時に発熱は無かったが来所後の抗原検査にて 1 名陽性反応あり

６．入退院

77 歳　女性　要介護 2

4/8　入浴時に左乳房にしこりを発見する。家族に連絡し受診、検査をお願いする。

5/2　乳がんの診断となり、その後、数回の検査を経て手術を行うことになる。

6/24　乳がんの手術のため島根大学付属病院へ入院となる

7/3　退院となり自宅に戻られる。

7/4　訪問を再開し、翌週より通い、泊りサービスも再開となる。

7/12　当施設にて泊りサービスをご利用中の起床時に発熱があり、新型コロナの抗原検査にて陽性の反応あり、ご家族に連絡し希望により緊急搬送を行う。医大へ搬送され、10 日間の入院となる。

93 歳　女性　要介護 4

7/11　当施設にて泊りサービスをご利用中の夕食後より発熱あり、抗原検査を行うも陰性だったため、家族に連絡しクーリングを行い、一晩様子を見ることとする。

7/12　起床時のバイタル測定で発熱は変わらずあり、血中酸素飽和度も 90～93%と上がらず、家族に連絡し緊急搬送を行う。中央病院にて新型コロナの陽性反応がでたため入院となる。

７．事故報告

対象者：81 歳　女性　　令和 6 年 7 月 3 日　16 時 20 分頃発生

ご自宅へのお送りした際の降車時にふらつきがあり、両手・両膝をつかれる転倒事故が発生した。

すぐに両手・両膝を確認し、両膝に若干の皮下出血がみられるも痛みはなく、歩行状態も変わらずだったため、様子観察とした。

その後、事業所に連絡し、家族へ連絡してもらうも連絡が取れず、翌日に再度連絡を行い、謝罪する。

歩行や乗降に関しては自立の方のため、油断があったものと考えられる。

どなたでも起こりうることなので、危険予測を常に考えながら業務を行うよう徹底していくこととした。

８．サービス評価

現在、サービス自己評価を実施中

９．質疑応答

1.新型コロナに感染し入院した方が出たとの事だが詳細はどのような状況だったのか？(地域委員様)

⇒６．入退院の所で詳細を説明する。(管理者)

2.新型コロナが 12 日に発生し、24 日にも出ている。継続して感染者が出ており心配している。

(民生委員様)

⇒現在の状況ではなかなか感染源の特定は難しく、感染防止の対策を取りつつ症状のない方の受け入れを行っている。(管理者)

３.新型コロナが発生し、対応が大変だったと思うが、どのような対応をされたのか？

（高齢者あんしん支援センター様）

⇒入院された方については上記の対応を行い、それ以外の方についてはご家族に連絡を取り、現在の状況および迎え時の抗原検査の実施をお願いする。その後、感染者が増えるごとに、ご家族に連絡し、情報提供を行ったうえで利用の希望を確認する。

２類から５類に移行になった事で、すぐに全体のサービスを停止するのではなく、症状がない方については抗原検査および感染防止対策を取ったうえで可能な限り受け入れを行うようにしている。（管理者）

４.送迎時の事故のようだが職員はどこにいたのか？（市役所高齢者福祉課様）

⇒職員は傍についてはいたものの、ふらつかれた際に左わきを支えたが支え切れなかった。

（管理者）